

## 第246回教育研究評議会<議事要録>

日時 令和7年12月8日(月) 14:00~15:00  
場所 <Web 会議により実施 (Microsoft Teams を使用) >  
本部棟5階 大会議室

出席者 大谷学長、増永理事、松崎理事、金山理事、椎名理事、大川理事、  
片岡副学長、齋藤副学長、高橋副学長、松本副学長、河野副学長、小俣副学長、  
三浦副学長、鬼形副学長、浅田法文学部長、川路教育学部長、山崎人間科学部長、  
竹谷医学部長、亀井総合理工学部長、三原材料エネルギー学部長、  
上野生物資源科学部長、丸橋評議員、縄田評議員、加川評議員、金崎評議員、  
三好評議員、小林評議員、浦野評議員、津本評議員、伊藤評議員、黒岩評議員、  
山本評議員

欠席者 飯野評議員

オブザーバー 吉田監事、栗原監事

[陪席：企画部長、研究・地方創生部長、教育・学生支援部長、総務部長、  
財務部長、松江地区学部等事務部長、医学部事務部長、監査室長事務取扱]

### 議決事項1 管理学則の一部改正について

- 増永理事から資料に基づき、管理学則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

### 議決事項2 日印グローバル教育・研究センターの設置に伴うグローバル化推進本部規則の一部改正及び同センター規程の制定について

- 片岡副学長から資料に基づき、日印グローバル教育・研究センターの設置に伴うグローバル化推進本部規則の一部改正及び同センター規程の制定について説明があった。
- 小俣副学長から、規程の第3条第1号について趣旨が不明確ではないかとの意見があり、片岡副学長から、インドの大学と連携して教育プログラムを開発し、学生交流及び修了証の共同発行により教育の国際化を進めていくとの趣旨が伝わるよう修正するとの発言があった。
- 竹谷医学部長から、すでに協定を締結しているインド国内の大学附属病院との連携についても本センターの役割に含めるのかとの質問があり、学長から、附属病院との連携も含まれており、規程の第3条に定める「大学」を「大学等」に修正するとの説明があった。
- 審議の結果、規程の一部を修正すること及び修正内容については学長に一任することとして議決された。

### 議決事項3 令和9年度入試における学力試験実施教科・科目等(案)について

- 松崎理事から資料に基づき、令和9年度入試における学力試験実施教科・科目等(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

### 議決事項4 令和8年度学年暦(松江キャンパス)(案)について

- 松崎理事から資料に基づき、令和8年度学年暦(松江キャンパス)(案)について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

### 議決事項5 名誉教授の称号授与について

- 学長から資料に基づき、名誉教授の称号授与について説明があり、審議の結果、原案ど

おり議決された。

**報告事項 1 令和8年度大学入学共通テストにおけるリスク管理対応について**

- 松崎理事から資料に基づき、令和8年度大学入学共通テストにおけるリスク管理対応について報告があった。

**報告事項 2 令和8年度個別学力試験（一般選抜（前期日程，後期日程），専門高校・総合学科）におけるリスク管理対応について**

- 松崎理事から資料に基づき、令和8年度個別学力試験（一般選抜（前期日程，後期日程），専門高校・総合学科）におけるリスク管理対応について報告があった。

**報告事項 3 令和7年度コンプライアンス・プログラム（講習）実施・受講状況（R7.11.25現在）について**

- 金山理事から資料に基づき、令和7年度コンプライアンス・プログラム（講習）実施・受講状況（R7.11.25現在）について報告があった。

**報告事項 4 公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和7年度第3四半期）について**

- 大川理事から資料に基づき、公的研究費等の不正使用の防止に向けた啓発活動（令和7年度第3四半期）について報告があった。

**報告事項 5 国際交流協定の締結・終結について**

- 報告事項5は書面をもって報告に代えた。

**報告事項 6 教員の採用等について**

- 報告事項6は書面をもって報告に代えた。

**その他**

- 丸橋評議員から、学内での樹木伐採について事前に情報を共有していただきたいこと、また、異なる意見が出た場合には、大学として法的対応よりも対話を重視しながら、今後の方針を示していただきたいとの意見があった。学長から、安全確保の観点から伐採は必要だったが、その理由や背景について説明が不足していたため、今後は理由や方針を丁寧に周知したいとの発言があった。続けて、大川理事から、エスカレーターを防ぐ目的で法的な観点を踏まえた表現を使用したのが、今後は事前に情報提供を行うとともに、意見を聴く仕組みについて検討したいとの発言があった。